

2022年11月6日(日) 講演会資料②

主催:(一般社団法人)障がい児成長支援協会

共催:(株)ライフライク ※障がい児成長支援協会諏訪地区支部長

～なるほど! 今日からすぐに使える具体的な学習支援～

特別支援が必要な子どもの

学習支援(国語・算数)

- 作文や長文理解が苦手な子への支援のあり方
- 算数の文章問題が苦手な子への支援のあり方
- 宿題になかなか取り組めない子への声のかけ方

(一般社団法人)障がい児成長支援協会 協会長

中部学院大学 山内康彦(学校心理士・ガイダンスカウンセラー)

まず、はじめに・・・ 講師紹介・・・

◎学校一番の問題児が先生（心理士）になった

図 画 工 作	絵をかく 版画を作る	X	X	X
	彫 塑 を作る			
	デザイン をする			
	工 作 をする			
	作品の美しさを味わう			
進歩のようす				
家 庭	技能が身についている			
	知識と理解力がある			
	実践力がある			
	進歩のようす			
体 育	運動のしかたを理解して正しくできる	○	○	○
	きまりを守り協力する	X	X	X
	健康安全に注意する			
	進歩のようす			

		Ⅱ 教科の評定										
段 学 期	学 階	教	国	社	算	理	音	図工	家	体		
		科	語	会	数	科	楽	画	庭	育		
1	よ い											
	ふ つう				○		○					
	もう少し	○	○			○		○	●		○	
2	よ い											
	ふ つう					●						
	もう少し	○	○	○	○	○	○	○			○	
3	よ い											
	ふ つう											
	もう少し	○	○	○	○	○	○	○	○		○	

研究授業のときは、他の先生が見
 に来てみえるときは、大変は叩いて、
 しっかり勉強できたのに、善断は注
 意散漫です。やればできるだけの力
 を拵っていますので、我がままを通
 さずして、自分勝手な行動がおき
 まるようになると思います
 (7.19)

授業中のよそみ、年ばかりが多く、忘
 れものをしてくると注意されるまで、知
 りん顔で何もしないで遊んでいます。
 強く叱られれば、何んでもさっさとやる
 力を拵っていますので、自分からやる
 という気を拵ってくれるのを待っています
 (12.26)

三学期のなか、ときどきですが、落ち着
 いて、勉強できるときもありました。
 わかろうな子で、好きなので、もう少し
 自分の我がままをおさえることができれ
 ば、ぐんぐん行ける子です
 (3.26)

なぜ私が二次障害を起こさなかったか？

×苦手な事や課題を克服するマイナスを埋める教育では、所詮頑張っても「0」

○得意なことや好きなことを伸ばしていくことで、マイナス面も高まっていく考え方が大切

(例) さかな君・トムクルーズ氏・金澤翔子さん

○ぼく(山内)にはたくさんの特技がある。

(サッカー・手品・ギター・スキー・船舶免許)

※自信→自己肯定感となっていく

※大きな花1つのタイプや小さな花の花束タイプ

子どもは環境によって“成長”が変わる

◎種は同じロシアひまわり ◎植えた時期も同じ



“療育の質”によっても成長が大きく変わる

◎畑は同じでも肥料の与え方によって大きく違う



療育の“時期”によって成長が大きく変わる

◎後から肥料を与えても・・・与える時期が重要



発育発達期の身体的特徴① 運動も同じ

スキヤモンの発育曲線から

なんと神経系（脳など）は7歳までに成人の95%の大きさまで発達する。

幼児期～中学年にかけて感覚や、神経・筋コントロール能力の向上が著しい。つまり、**今が大切！！**

発育発達期の身体的特徴② 運動も同じ

ゴールデンエイジ（9～12歳）

「即座の習得」という特徴

※「プレゴールデンエイジ」における基本的な動きの習得が大前提

プレゴールデンエイジ（5～8歳）

様々な動きを経験することが大切

では、本題の『学習』についてのお話です

宿題について考えてみると…

そもそも宿題として内容が正しいか？

☆宿題の本来の目的は……

『学校で習ってできるようになったことを
家庭でも繰り返し行って定着させること』

しかし、それでは早く終わってしまうので
保護者が『もっと出してくれ』という。

すると先生は、『もっと長い時間机に座って
いられる宿題を！』となる・・・

×ノートいっぱい漢字練習・×日記1頁以上 →面白くない

《学習支援のポイント》

心理学的に“やる気”の出る時から考える

- ①楽しい 面白い やってみたい
- ②できる わかる 上達する
- ③ほめられる 認められる ご褒美がある
- ④怖くない 安全 安心

学習について①は、難しい！

②と③と④を改善することならできる！

『できることから』 『×をつけない』

『しからずほめる』 の3つがポイント

できることからの出発



《通常の教育》

「できないこと 新たなことへの
チャレンジ教育」

今までにできた経験・成功体験が多いから
進んで取り組むことができる。

《特別支援教育》

「できることからの出発の教育」

成功体験を積み重ねて自信をつけさせる

本当に力をつけるなら、

遅れないようにするなら

学習は「捨てる勇氣」をもつことが大切

※学校の先生は全てをやらせたい

→学習ができない・遅れる

カレーライス理論？

1 ラッキョ 2 ライス 3 カレールー
いらない 半分可 絶対必要

本当に必要な学習内容だけをしっかりと

取り組ませる→学校との連携が大切

×アクティブラーニングが合わない

作文指導のポイント ※パターンで教える

題 今日楽しかったこと

□今日楽しかったことは三つあります。

□一つ目は . . .

□二つ目は . . .

□三つ目は . . .

□その中で一番楽しかったのは . . . です。

□わけは、 だからです。

□そのことをお母さんに話したら

「 」

と言いました。

□僕は と思いました。

□明日も楽しいことがたくさんあるといいな。

読書感想文や将来の面接にも応用可能

読書感想文（題 ○○を読んで）

- を読んで面白かったことは三つあります。
- 一つ目は・・・□二つ目は・・・□三つは・・・
- その中で一番面白かったのは・・・です。
- わけは、・・・・・・・・・・だからです。
- そのことをお母さんに話したら
「・・・・・・・・・・」と言いました。
- 僕は・・・・・・・・・・と思いました。
- 次に不思議に思ったことも三つあまりした。

面接・願書

- 僕がこの会社を選んだ理由は三つあまりです～

字を書く時のポイント

- ①マスを大きくして→できそうという気持ちを出す
- ②繰り返し書く量を減らして→意欲をもたせる
- ③うすく鉛筆で手本を書いてなぞらせることで
→失敗しない安心感をもたせる。

100年前の寺小屋の授業を行っていませんか？
今は、パソコンの時代です。

ならば・・・

×はねやはらい、書き順をただしく書かせる時代

◎文字のつくりが合っていることが大切

☆文化庁2016年「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」文字の細部に必要以上の注意が向けられ・・・漢字の正誤が決められている。

算数の文章問題を解くポイント

- ① 『はじめの数はいくつ？』
- ② 『うしろの数はいくつ？』
- ③ 『何算の問題？』
- ④ 『答えの単位は何？』

(例：問題) りんごが5個ありました。3個食べました。残りは何個ですか？

りんごが5個ありました。3個食べました。残りは何個ですか？

$$5 - 3 = 2$$

答え 2個

算数の文章問題を解くポイント

- ① 『はじめの数はいくつ？』
- ② 『うしろの数はいくつ？』
- ③ 『何算の問題？』
- ④ 『答えの単位は何？』

(例：問題) りんごが2個ありました。5倍になると何個になりますか？

りんごが2個ありました。5倍になると何個になりますか？

$$2 \times 5 = 10$$

答え 10個

算数の文章問題を解くポイント

- ① 『はじめの数はいくつ？』
- ② 『うしろの数はいくつ？』
- ③ 『何算の問題？』
- ④ 『答えの単位は何？』

(例：問題) りんごが10個ありました。2個ずつ仲良く分けると何個になりますか？

りんごが10個ありました。2個ずつ仲良く分けると何個になりますか？

$$10 \div 2 = 5$$

答え 5個

パターンを増やしていく

- ① もらう・拾う・飛んでくる→増えると『たし算』
- ② 落とす・食べる・あげる →減ると『ひき算』
- ③ 何倍・五つ分・ →『かけ算』
- ④ なかよく分ける・同じ数分ける→『わり算』

※ほぼ上記のやり方かで8割近い問題を解くことができる

100点めざして、基礎的な問題までも理解できなくなってしまうケースがある。ならば、2割の変わった問題を捨てて、基礎的な文章問題を解けるよいにすればよい。

捨てる文章問題の例

①クッキーを5枚食べました。今日はクッキーを3枚食べました。合わせて何枚食べたでしょう。

※“食べた”なのにたし算？→混乱する

②今朝りんごが3個あります。昨日は5個ありました。何個食べたでしょう。

※“3-5”？→引けない？

▲（通常の教育）基礎→応用→発展→テスト

◎（特別支援教育）基礎→基礎→基礎→テスト

※基礎を三倍することで定着する70点でOK

長文理解のさせ方

“長文理解” と思うから楽しくない

※ “長文理解” は、『宝探し』と考えて遊ぶ気持ち

①必ず答えは問題の近くに隠れている

※まずは、問題文の前後にある

②学年が進むにつれて問題文から答えになる部分が離れ行くから難しくなる

▲その学年の長文は答えの距離が遠く探せない

◎まずは、取り組む長文の学年レベルを下げ、
答えを見つけることができるものに取り組む

長文理解のさせ方

出典 (株) 学書「ウインター錬成」国語小1より

では、実際に小学校1年生の典型的な長文問題を解いてみましょう。

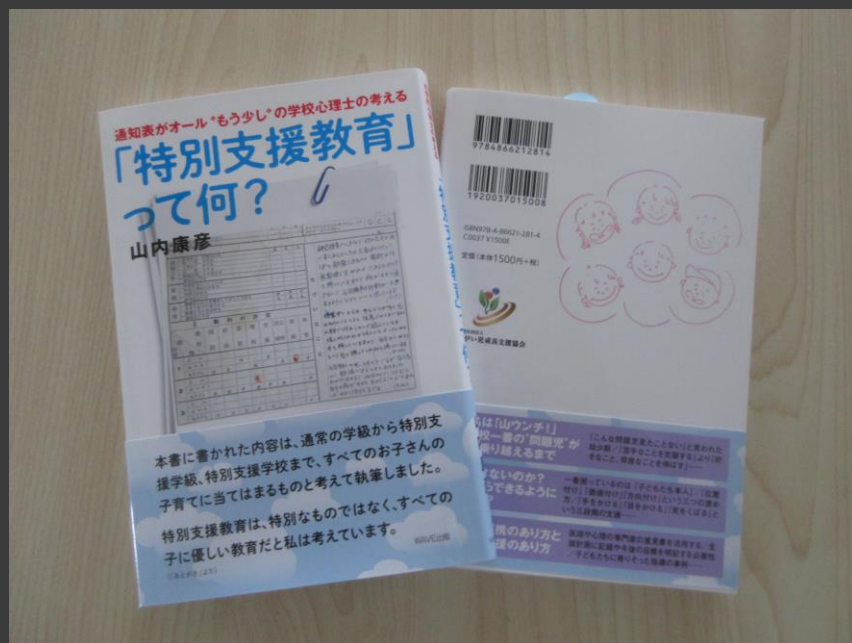
①基礎問題

②少しレベルが上がると

▲順番に解かないと気が済まない習慣は正す

◎まずは、できる問題から取り組むことがポイントとなってくる。

困り感を共感的に受け止め、早期から適切な支援を継続的に行うことが大切です



**特別な支援は、もはや特別なものではありません
全ての子どもたちにとってやさしい支援なのです**

ご清聴ありがとうございました。

山内先生の無料個別相談会追加

令和5年1月5日（木）限定10名
10時00分～19時00分まで

特別支援に関わる様々なお話しを気軽に聴けます。



ぜひお申し込みください。

電話・Mail等で申し込み
ください。